



# 新着図書案内

2019年11月発行



## 『はじめよう!移動販売 クルマ1台で起業する』

クルマ1台あれば、お客さんのいる場所が「お店」になる! 移動販売の始め方から、通いたくなる店舗づくり、集客やリピートしてもらう方法まで、具体的に解説する。事例も多数紹介。

滝岡 幸子 // 著 同文館出版

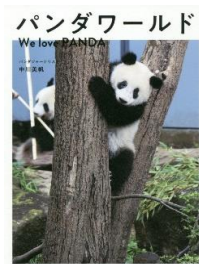


## 『奇書の世界史』

歴史を動かす“ヤバイ書物”の物語

歴史のある地点において奇書として位置づけられた書籍を「奇書」「名著」両方の観点から眺め、時代の移ろいにより評価が反転した経緯を解説する。動画サイトYouTube等投稿を大幅に加筆修正、書下ろしを加えて書籍化。

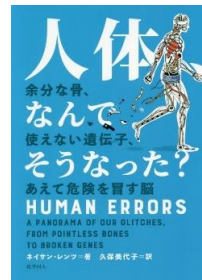
三崎 律日 // 著 KADOKAWA



## 『パンダワールド』

物心ついたところからパンダが好きで、パンダの世界の奥深さに魅了されてきた著者が、「可愛い」だけじゃない、知られざるパンダの魅力とドラマを写真を交えて綴る。ほぼ自費かつ単独で訪ねた世界30カ所のパンダも紹介。

中川 美帆 // 著 大和書房



## 『人体、なんでそうなった?』

人類が進化の最高傑作ならば、なぜしょっちゅう風邪を引くのか? なぜ手首に無駄な骨が多くあるのか? 人体の構造や機能の「欠点・欠陥」に焦点をあて、なぜそうなったのかを進化の歴史を紐解きながら語る。

ネイサン レンツ // 著 久保 美代子 // 訳 化学同人



## 『日本の星空ツーリズム 見かた★行きかた★楽しみかた』

山の中で見上げる無数の星たち、南のリゾートで海に映る月明かり…。天文の専門家がオススメする、北海道から沖縄までの美しい星空が見えるスポットを収録。星空初心者にも役立つ情報もQ&A形式で紹介する。

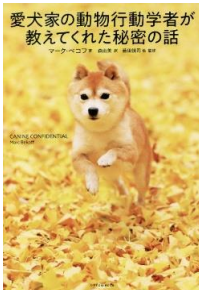
縣 秀彦 // 編著 宙ツーリズム推進協議会 // 協力 緑書房



## 『「ついでに体験のつくりかた」 体験のつくりかた』

誰にでも人の心を動かす体験はつくりだせる! 名作ゲームは、プレイヤーの心をどうやって動かしたのか? 元・任天堂の企画開発者が、実際のゲームを分析しながら「体験デザイン=心を動かす体験をつくる方法」の本質に迫る。

玉樹 真一郎 // 著 ダイアモンド社



## 『愛犬家の動物行動学者が 教えてくれた秘密の話』

犬が臭い場所を嗅いだり、そこに転がるのはなぜ? 犬に心はあるのか? 犬の良き相棒になるには…? ペット先進国アメリカで何千頭もの犬たちを観察してきた著者が、犬の秘密を紐解く。

マーク ペコフ // 著 森 由美 // 訳 藪田 慎司 // [ほか]監修 エクスナレッジ



## 『モアイの白目 目と心の気になる関係』

ヒトだけに白目があることを明らかにした著者が、見過ごしてしまいがちな「目」にまつわるさまざまな事柄を、最新の心理学や行動学の研究の数々を紹介しながら読み解く。『眼科ケア』連載を書籍化。

小林 洋美 // 著 東京大学出版会

\*掲載しているものは新着本の一部です。新着本は随時ホームページで公開していますので、そちらもご覧下さい。  
\*紹介文はTRCマークより引用。\*書影は日外アソシエーツブックデータASPサービスを利用。または出版社より許諾を得ています。





## 『大英自然史博物館珍鳥標本盗難事件』

大英自然史博物館から約300羽の鳥の標本が消えた。世にも美しい鳥が行きついた先は、希少な羽で毛針を制作する愛好家たちの世界だった。2009年6月に起きた盗難事件の真相に迫る犯罪ルポルタージュ。

カーク ウォレス ジョンソン // 著 矢野 真千子 // 訳 化学同人

## 『VRが変えるこれからの仕事図鑑』

ビジネスに大きな変化をもたらすVR(仮想現実)。具体的にどのように変わっていくかを、業界・ジャンルごとに紹介。ほか、VRで新しく生まれる仕事、変わる働き方、VR体験なども収録する。

赤津 慧 // 著 鳴海 拓志 // 監修 光文社

## 『専門医に学ぶ長生き猫ダイエット』

「ぽっちゃり=カワイイ」という思い込みで、愛猫の寿命を縮めていませんか? 専門医が猫の肥満の実態、ダイエットの基本的な流れと心構えなどを解説します。実録ダイエット日記、書き込み式ダイエットノートも掲載。

横井 慎一 // 監修 駒草出版

## 『思春期の心とからだ図鑑』

思春期の悩みにまっすぐこたえる本。汗とにおい、情動と感情、将来の職業、ネットとのつきあいかた、人との交流…。様々な項目ごとに、思春期を通して体と心が、社会との関わりがどう変わっていくかをイラストと共に解説する。

ロバート ウィンストン // 監修 名越 康文 // 日本語版監修 三省堂

## 『エイリアン』

### 『科学者たちが語る地球外生命』

極限環境微生物か、無機質な知性体か。現実として浮かび上がる「エイリアン」の姿とは? 天文学、宇宙物理学、生化学、遺伝学…。様々な分野の専門家が、地球外生命の定義、存在の条件と可能性、形態、探査方法を検討する。

ジム アル=カーリー // 編 斉藤 隆央 // 訳 紀伊國屋書店

## 『ネコもよう図鑑』

### 『色や柄がちがうのはニャンで?』

ネコの模様は、遺伝子の組み合わせによって決まります。ネコの模様パターンを11通りに分類し、ネコのほっこり写真とともに、遺伝のしくみを解説します。ネコ飼育の歴史などの基礎知識、遺伝子当てクイズも掲載。

浅羽 宏 // 著 化学同人

## 『精密への果てなき道』

### 『シリンダーからナノメートルEUVチップへ』

産業革命期に生まれた精密概念。工作機械の父・ウィルキンソンをはじめとする天才技術者や、フォード、インテルなどのエポックメイキングな高精度工業製品を生み出した企業の奮闘を描き、技術史に埋もれがちな側面を炙り出す。

サイモン ウィンチェスター // 著 梶山 あゆみ // 訳 早川書房

## 『現地嫌いなフィールド言語学者、かく語りき。』

パキスタンとインドの山奥で、話者人口の少ない7つの言語を調査するフィールド言語学者の著者。現地の過酷な生活環境に心折れそうになりつつも、独り調査を積み重ねてきた日々を、独自のユーモアを交えつつ淡々と綴る。

吉岡 乾 // 著 創元社

## 『江戸』

江戸城と見附、建物と通り、堀と橋、大仏と時計台…。日本カメラ博物館の約550点の秘蔵古写真集で、幕末維新の江戸から東京へ変わりゆく姿を伝える。明治初期に帰国したイタリア公使バルボラーニ伯爵の写真帖からも掲載。

日本カメラ博物館 // 監修 山川出版社

## 『在野研究ビギナーズ』

### 『勝手にはじめる研究生活』

在野の研究者に資格はいらない。卒業後も退職後も、いつだって学問はできる! 現役で活躍中の在野研究者たちが、研究生活の実践と方法を、おのおのの体験の中で論じる。

荒木 優太 // 編著 明石書店

\*掲載しているものは新着本の一部です。新着本は随時ホームページで公開していますので、そちらもご覧下さい。  
\*紹介文はTRCマークより引用。\*書影は日外アソシエーツブックデータASPサービスを利用。

